

皆様、おはようございます。我々楽隊の挨拶は、屋でも夜でも「おはようございます」で済ませます。それから、学生時代から言葉をはっきり返して会話をしていました。「コーヒー飲み行こう」が、(ヒーコー、ミーノに行こう)といった感じです。お金の単位も、c.d.e.f.g.a.h.ドイツ音名で言います。「昨日のギヤラ1万円だったよね」が、(昨日のラーギャ、c万だったよね)となります。ですから、電車の中など便利に使っていました。例えば「えーまの、じょのか、いいかわだよね」わかりますでしょうか。正解は「前の彼女、かわいいよね」となります。どんな会話をしていたんだと突っ込まれそうですが、まあ、そんな話はさておいて、自分の昔の話を少しだけ…

生まれは、長野県の上田の山の中でして、両親が音楽好きで、蓄音機? が何時もかかっていたかもしれません。兄がチェロで成功するのを見て、よし、俺も! と決心したのが、高1の時でした。高3の時は、音楽室が離れたところにあったのですが、担任の先生が音楽室の鍵を預けてくれました。夜は仲間の溜まり場になったのも事実ですが、夜10時ごろまで練習できました。それから40年くらい経ち、その時の担任に会いましたら…「あの時は大変だったよ。職員会議で揉めていた。」と伺い、びっくりしました。今では考えられない、先生や周りの大人たちの寛大な対応に感謝です。字数に限りがありますので、この続きは、またのお楽しみに…

広響との関係は、僕の弟子の渡部奈津子さん、そして音楽総監督の下野さんとの読響時代からの繋がりなどから、声を掛けて下さったことなどのご縁で今に至ります。実は、自分は今年70才になり、本来ならば家で粗大ゴミ?! になるところだったので、今の境遇は本当に感謝です。心から御礼申し上げます。

其々のプログラムをこれが最後と思い、心して頑張ろうと思います。

皆様、これからも広響を宜しくお願い致します。

私と音楽との出会いは幼稚園の時にヤマハの音楽教室に行かされた? ことです。同時に通っていた絵画教室の方が楽しかったです。小学生になってからピアノ教室に行かされて嫌で嫌でしょうがなかった理由は、ピアノを習っているとと言うだけで朝礼の時アコーディオンで校歌の伴奏をさせられたり、鼓笛隊でベルリラをやらされたり…そんなことから、いい思い出が全くないのです。中学生になると同時にピアノを辞めてからの方が、素直に音楽を楽しめるようになったと思います。通っていた学校は中高一貫校で、三学期の始業式に広響の演奏を聴くのが恒例行事。広響を初めて聴いたのは、記憶にある限り小学生の時にベートーヴェンの第九を公会堂で聞いた時で、ベートーヴェンってカッコイイというのが子供なりの感想です。

そのうちテレビで山本直純さんの「オーケストラがやってきた!」を見るようになり、オーケストラって面白いとのめり込んで行き、同じ時期に学校のクラブでヴァイオリンを始めて、クラシック音楽の世界にどんどんはまって行きました。幼少期の音楽嫌いは何処へ行ったのか…気づけばお小遣いはレコード、FM雑誌、クラシック専門誌、スコア、コンサートのチケット代に飛んでいきました。映画もクラシック音楽に関係したものを観る程クラシック音楽に心酔。チャールトン・ヘストンの『誇り高き戦場』を見ては「ブラームスは凄い」とか、ドキュメンタリー映画『ビューティフルピープル』を見ては「リストのレプレリュードは感動的だ」とか…

そのうちに自分もオーケストラで演奏したいという思いがどんどん募り、父の反対を押し切り音大へ進学出来たのは、音楽好きの祖母や母のお陰です。

時は流れ、この5月に還暦をむかえ、6月からは継続雇用となりました。勤続38年、よく続いたと思います。キツイこと辛いことも沢山ありましたが、頑張ってきたのは「音楽が好き!」その一語に尽きます。そして、素晴らしい指揮者、演奏者、仲間との出会い! 特に今年生誕100年の渡邊暁雄先生が、本番前に仰って「音楽を楽しみましょう!」という言葉が忘れられません。自分が楽しめなきゃ聴衆の皆さんに伝えられないよね!

さ、今日も我が最愛のデューク(キャバリア キングチャールズ スパニエル・男の子・1歳)の寝顔を見ながら頑張りますか…ゴールはまだまだ先となりそうです…。



首席客演ホルン奏者  
山岸 博



ヴァイオリン奏者  
佐々木 明子

## 編集 後記

5月に新元号「令和」元年となりましたね。新しい時代の始まりは、旅行などを通して心機一転するにも良い機会です。地域定期、広響演奏会へおでかけしてみませんか? 広響の演奏会や最新情報は公式FacebookやTwitterで。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

## 公益社団法人 広島交響楽協会

(受付時間 平日9:00~17:20)  
TEL 082-532-3080 FAX 082-532-3081  
URL <http://hirokyo.or.jp> E-mail [info@hirokyo.or.jp](mailto:info@hirokyo.or.jp)

# TREND HIROKYO

トレンド広響  
No.97  
2019年夏号



公益社団法人 広島交響楽協会

〒730-0842 広島市中区舟入中町9-12 舟入信愛ビル3F  
TEL 082-532-3080 FAX 082-532-3081 URL <http://hirokyo.or.jp> E-mail [info@hirokyo.or.jp](mailto:info@hirokyo.or.jp)

## Music for Peace ~音楽で平和を~

6月20日に開催いたしましたMusic for Peace コンサートでは、ペンデレツキ氏の体調面を考慮し、急遽出演となった次代を担うと期待される沖澤のどかさんの指揮によるベートーヴェン:交響曲第8番で幕開け。広島デビューを華々しく飾った沖澤さんの指揮に続き、現代音楽の第一人者であり、ポーランドの国民的巨匠ペンデレツキ氏が登



場。25年ぶりに広響登場となるペンデレツキ氏自身の作品を指揮する姿に、会場は感動の渦につつまれました。ソリストには世界で活躍する庄司紗香さんが登場し、ペンデレツキ氏が作曲した、ヴァイオリン協奏曲第2番「メタモルフォーゼン」を共演。ペンデレツキ氏と幾度と共演を重ねたソリストだからこそわかる、二人のあうんの呼吸による演奏が、ご来場の皆様を格別な体験へと導き、広響の歴史に新たな1ページを刻む公演となりました。

8月17日・18日は、ポーランド公演に楽団員の一部が参加し、ワルシャワより世界に向けて平和のメッセー

ジを強く発信してまいります。今回の公演は、シンフォニア・ヴァルソヴィアとの合同演奏ではございますが、平成17年の韓国公演以来、14年ぶりの広島交響楽団海外公演となります。この度は皆様からの温かいご支援に加え、株式会社近畿日本ツーリスト中国四国様の企画として一般の方もご鑑賞いただけるツアーを用意いただいております。

日本国内では8月5日に2019「平和の夕べ」コンサートを開催いたします。首席客演指揮者就任後、初の「平和の夕べ」コンサートへ出演するクリスティアン・アルミンクと世界的チェリスト・ステイーヴン・イツァーリス、そしてナチュラル・ホルンのパイオニアと称されるハビエル・ボネとの共演に胸が高鳴ります。7月は呉定期(21日)・島根定期(28日)と地域定期演奏会が2公演開催されます。2019年度は、作曲家や作品、出演者同士とお客様、様々な「縁」がテーマの下野体制3年目。指揮者、ソリストだけではなく、各地域の特色あるホールで聴く広響もまさに~音楽が紡ぐ「縁」~ではないでしょうか。是非、この機会にご家族、ご友人の方々と広響の地域定期にお越しください。皆様のご来場、お待ちしております。



©Satoshi Aoyagi



©Kazuhide Ishikawa

## 細川俊夫 広島交響楽団 コンポーザー・イン・レジデンス 就任

広島出身の作曲家として世界で活躍する細川俊夫が、この度、7月より広島交響楽団初のコンポーザー・イン・レジデンス(在籍作曲家)に就任いたしました。8月の「平和の夕べ」コンサートにおける新作世界初演を始めとし、ディスクカバリー・シリーズ「Hosokawa×Beethoven」での2年間に及ぶ再演シリーズや、2021年に計画中の共同委嘱への参加など、これまで以上に広響と密接な係りを持つことで、皆様にとってもっと身近な存在になるのではないのでしょうか。任期は2019年7月1日~2021年5月31日。

### 公演情報

**8月5日(月)「平和の夕べ」コンサート**  
細川俊夫:リートV チェロと弦楽オーケストラ、打楽器、ハープのための(広響委嘱・世界初演)  
チェロ独奏:ステイーヴン・イツァーリス  
**10月4日(金)ディスクカバリー・シリーズ2**  
細川俊夫:ピアノ協奏曲「月夜の運」  
— モーツァルトへのオマージュ  
ピアノ独奏:児玉桃

## 日本・ポーランド国交樹立100周年記念演奏会へのご寄付 ~御礼とお願い~

「日本・ポーランド国交樹立100周年記念演奏会」へのご寄付にご賛同いただき、誠にありがとうございます。ご寄付を賜りました皆様に心より御礼申し上げます。記念演奏会の概要6/20開催公演の他、右記の通りです。何卒この趣旨にご賛同いただき、皆様のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

### ご寄付の種類

【法人】10,000円/1口  
【個人】1,000円/1口

### ▶ポーランド公演 演奏会概要

8月17日(土) 会場:ワルシャワ・フィルハーモニーホール  
[出演]指揮:秋山和慶 ピアノ:マルタ・アルゲリッチ  
[曲目]ベートーヴェン/交響曲第9番「短調」 op.125 [合唱] 他  
8月18日(日) 会場:ワルシャワ・フィルハーモニーホール  
[出演]指揮:下野竜也 ピアノ:ネルソン・フレイル  
[曲目]ペンデレツキ/広島島の犠牲者に捧げる哀歌  
藤倉大/オーケストラのためのUmi(海) (ポーランド初演)  
ショパン/ピアノ協奏曲第2番「短調」 op.21 他

詳しくは広響事務局までお問い合わせください。082-532-3080

## 中期定期会員募集中! (受付期間 2019年4月15日~9月12日)

9月から11月までの定期演奏会全3回公演を、座席指定でお得にご鑑賞いただける中期定期会員を現在募集します。

9/13 18:45 第393回定期演奏会  
10/11 18:45 第394回プレミアム定期演奏会  
11/29 18:45 第395回定期演奏会



第393回定期演奏会  
指揮:下野竜也



ピアノ:清水和音



第394回プレミアム定期演奏会  
指揮:リオ・クオクマン



ヴァイオリン:サラ・チャン



第395回定期演奏会  
指揮:シルヴァン・カンブララン

料金(3回) S席 13,500円 A席 12,500円 B席 11,500円 お申し込みは広響事務局 ☎082-532-3080までお電話ください。

